

春の法要・アコーディオン漫談



4月3日(日)午後1時～徳成寺において、春の法要が勤まりました。当日は、暑くもなく寒くもなく、隣の公園の桜は満開で最高でした。

午前中から、お斎(お食事)を作るスタッフの方々に^{おとき}ご活躍頂いて、バラ寿司・わけぎ和え・お吸い物をみんなでおいしく頂戴致しました。

この日のお話は、高松平和病院ホスピス緩和ケア病棟の看護師・水谷有希さんに来て頂いて、福祉講座「がん終末期医療について考える」を聞きました。大切なのは「どう生きたいのかをハッキリさせる」次に「家族と率直に話し合いをする」そして「日々を大切に生きる」の3つだそうです。できそうで、なかなか難しいことばかりですが、ご一緒に考えて参りましょう。



続いての寺ともサービスデーは、さぬき市志度のボランティア朗読サークル・どんぐり亭一門のたまごろうさん・おんぷさん・お香好さんのお三方が、落語とアコーディオン漫談を披露して下さいました。讃岐にはこんな芸達者な方がおられると驚かれたことでしょうか。芸の楽しさはもちろんのこと、それ以上に、楽しく生きようと思えば、自分次第で楽しく生きられると、福祉講座の大切なポイントその①に通ずるのではと思いました。